

どのようにロータリーで革新性を発揮するか？

投稿日: 2019. 2. 21

革新性と柔軟性 ― この二つの言葉は、急変する環境に
適応する組織について話をするとき、よく耳にする言
葉です。ではロータリーにとって、これらは何を意味
するのでしょうか。

ひと言でいえば、革新性と柔軟性は、ロータリーの未
来を定義するものであり、「より大きなインパクトを
もたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極
的なかわりを促す」「適応力を高める」という、ロー
タリーの新しい戦略計画の基本的な柱です。

ロータリーの成長とあらゆる層の入会促進に真剣に取
り組むのであれば、革新が必要となります。

この革新は、さまざまな形で行われる必要があります。
まずは、ロータリーの変革という考えを受け入れるこ
とです。それは、好ましい変化という文化を醸成し、
新たな現実や課題というニーズに適応することから始
まります。

次に革新は、変革を起こすテクノロジーにも関連して
きます。これは持続的革新と呼ぶことができ、つまり、
既存会員のためのプロダクトを絶えず発展させるこ
とを意味します。

ロータリーでは、この持続的革新を促進するため、3
つの新しいツールを用いています。ロータリーのラー
ニングセンター、ロータリークラブ・セントラル、そ
して改良されたオンラインの入会候補者情報プログラ
ムです。これらのツールは既に利用が可能となってい
るほか、多くの新しいツールが作成段階にあります。
これらのツールを一貫して使用していくことは、未来
の成長戦略にとっての重要な土台となります。

そして、ロータリーでめざすべき3つ目の革新があり
ます。それは破壊的イノベーションと呼ばれるもの
です。

ビジネスの世界においてそれはプロダクトまたはサー
ビスに言及するもので、しばしばその初期設定におい
てとてもシンプルなものです。このようなプロダクト
やサービスは、市場の底辺に根付き、そこから絶え間
なく人気を得て、ついには大手の会社を追い抜くほど
に拡大します。

世界で見られる一つの例が、自家用車による配車サー
ビスを提供するUber（ウーバー）です。Uberは、顧
客のニーズと、それに応えることを望む運転者を結び
付ける方法を導入し、配車業界に大きな革新をもたら
しました。

同じように、世界レベルでつながりと友情を築き、行
動する機会を探している人たちが大勢いる今日、ロー
タリーは破壊的イノベーターとなれる位置づけにあり
ます。

ロータリークラブが将来どのようになっているか、少
し想像してみてください。例会のスケジュールや形式
を変えることができたクラブを想像してみてください。

または、例会の出席要件を緩めることができるクラブ、
複数の会員種類を設けることができるクラブ、現役ロー
ターアクターをロータリークラブ入会に招くことの
できるクラブ、そして、規則の順守という物差しではな
く、地域発展とクラブの成長という目標の達成度を物
差しとして考えるクラブを想像してみてください。

あまり深く想像力を働かせる必要はありません。この
ようなクラブは既に存在していますから。
ニュージーランドのNRGロータリークラブ（NRGは
“Next Rotary Generation”の略）では、家族も気
軽に参加でき、移動型の例会時間と例会場所を採用し
ています。出席は奨励されていますが、強制はされま
せん。

アルバ・ロータリークラブでは、組織的に地元のロー
ターアクトクラブとインターアクトクラブを活動に参
加させるようにしています。これは、それらクラブの
メンバーが円滑・自然にロータリークラブに入れるよ
うにすることを目的としています。結果として、この
ロータリークラブでは、会員の半数が元ローターアク
ターです。

そして、パスポートクラブと呼ばれるクラブもありま
す。3年前、米国カリフォルニア州の第5180地区は、
毎週の例会への参加に興味湧かない、または会費を支
払う余裕がない若い会員の関心を引くクラブモデル
について考えました。

そこで地区は、同州サクラメントに、会員20名のパス
ポートクラブを設立しました。そのクラブが例会を開
くのは、なんと年にわずか6回のみで、オプションと
して例会がない月に交流行事を開いています。そして、
要件となっている6回の例会出席に加えて、パスポ
ート会員は毎年、ロータリー財団に1,000ドルを寄付
するか、ロータリークラブや地区内の非営利団体と一緒
に少なくとも40時間の社会奉仕を行わなければなりま
せん。

このクラブの会員数は、3年間で3倍にも増えました。
長期的で持続的な成長戦略とは、どこからともなく現
れるものではありません。革新性と柔軟性に対するク
ラブの熱意、クラブの革新性と柔軟性を導くための献
身、また、発展とともに生じる地域社会の特定ニーズ
に最善のかたちで応えていくための献身、さらに、ロー
ターアクターの力をロータリーで取り入れていくため
の熱意が必要となります。

私たちに求められるのは、既成概念を抜け出し、新し
い革新的なクラブモデルによるロータリーの成長をめ
ざし、新しいアプローチを試みることです。

そうすれば、私たちはきっと、革新性、柔軟性、そし
て思慮に満ちた変化を通じて活路を切り開いていくこ
とができるでしょう。



柏南ロータリークラブ 会報

第39代 会長 岡田尚子 幹事 荒木知太郎

第1806回2019年2月27日（火曜日）

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと、高い倫理基準をもって 行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人々の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアン の評判を落とすような言動は避ける。

会長挨拶

本日は第11グループのIM(Intercity Meetin
g)です。麗澤キャンパスプラザから会場をザ・
クレストホテル柏に移して5クラブ合同での開
催です。

首都大学東京 教授 山下祐介先生をお招きし
て「人口減少とロータリー」のテーマでご講
演いただきました。

一般市民の方の参加も募ったため、会場は満
員となりました。

講演に先立ち、溜川ガバナー補佐の主催者
挨拶、秋山柏市長、星野我孫子市長からもご
挨拶を頂きました。我孫子市では、実際に人
口減少が7年前から始まっているとの事で、こ
の講演には非常に興味を持たれているとの事
でした。

答えの出ない人口減少=少子化についてお話
を伺いましたが、地元に着した活動をして
いるロータリークラブにとって、これからの
大きな問題になってくるのだと実感いたしま
した。

大学の教授をお招き来してのIMで、一時学生
気分を味わうことができました。



国際ロータリー第2790地区 第11グループIM

テーマ：人口減少とロータリー

1. 主催：国際ロータリー第2790地区 第11グループ

柏ロータリークラブ、我孫子ロータリークラブ、柏西ロータリークラブ、
柏東ロータリークラブ、柏南ロータリークラブ

2. と き：2019（平成31）年2月27日（水）

3. ところ：ザ・クレストホテル柏（柏市末広町14-1）

4. 開催の目的

人口減少社会に関する現況や施策等について正しく学び、個人として、あるいは集団として地域社会で担えるものを考え、行動していくための契機となることを目的とします。

IMはロータリークラブの会員間で交流するものですが、テーマの性格から今年度は広く一般市民にも開放した講座（「市民公開講座」）として開催します。

5. 日 程

12：00～12：50 食事（ロータリアン）

（12：30～13：10 一般受付）

13：00 開会

司会：小笹一夫AGV幹事

点鐘：溜川良次AGV

ロータリーソング「我らの生業」

（一般市民の入場）

13：20 主催者あいさつ：溜川良次AGV

来賓紹介・あいさつ：①秋山浩保・柏市長 ②星野順一郎・我孫子市長

13：30～15：00 講演：首都大学東京 山下祐介・教授

15：00～15：30 質疑応答（質疑がなければ…講演を聴いて：5クラブ代表など）

15：30 閉会・点鐘：溜川良次AGV

15：40～17：00 懇親会：5クラブ会長・幹事、中村・寺嶋PGVにも案内。
（山下祐介教授も参加予定）

IM（Intercity Meeting）：近隣都市の複数のクラブで実施する都市連合会のこと。グループ単位でのクラブが合同で行う自由討論会。ガバナー補佐が主催して開かれることが多い。決議や決定はない。クラブ会員が全員参加のもと、第一に会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝えると共に、立派なロータリアンの養成を目的としたロータリーの奉仕の理想を勉強する。テーマはロータリーのことや一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならない問題点など。形式も講演・フォーラムなど。この会合では、知識を広めたり深めると共に、グループ内の会員の親睦も重要な目的で、懇親会も併せて開催される。



例会報告

浅野 了	浅野 繁	荒木知太郎	池田 孝	井畑和士
今井 昇	大内 啓	岡田勝久	岡田尚子	片岡達生
小高 潔	小林義和	小林 亘	斎藤由紀	櫻井好美
関口和行	園邊 哲	高橋 薫	竹村隆一郎	妻島不三二
鶴田和之	戸部謹爾	友野俊政	中島恵里	仲原一郎
猫田岳治	服部秀雄	福田理佳	古谷桂子	宮 寛
宮本邦雄	森 秀樹	八木和男	山川真哉	山口修代
山崎康弘	山本昭彦	吉川未満	米谷昌紀	
出席	メーキャップ	出席免除		

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
2月27日	39	25	2	67.6
場所：ザ・クレストホテル柏				

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

例会欠席の場合は前週土曜日までに必ず事務局へ連絡をお願いします。こちらのメールアドレスへご一報ください。
ckmrc@io.ocn.ne.jp